

令和4年度

事業報告書

学校法人 鶴鳴学園

令和4年度事業報告書

学校法人 鶴鳴学園

はじめに

長崎女子短期大学においては、令和5年度の入学予定者数は136名となり、前年と比較し、栄養士コースで13名増加したものの、ビジネス医療秘書コースで1名減少、幼児教育学科で14名減少となった。幼児教育学科、生活創造学科共に入学定員で未充足、収容定員充足率で79%となり、引き続き定員確保に向けた学生募集対策が喫緊の課題となった。

長崎女子高等学校においては、オープンスクールの参加者は増加したものの、入学まで繋げるには至らず、令和5年度の入学予定者数は109名、前年と比較し28名減と大きく減少した。今後、入学者減少となった検証をもとに募集活動の見直しを行い、効果的な募集活動を構築する。

長崎女子短期大学附属幼稚園においては、短期大学幼児教育学科との連携を深め附属幼稚園としての特色を更に鮮明にして、園児・保護者の満足度向上、保育の質の向上に取り組み、他園との違いを明確にすることに努めてきた。

I. 事業の概要

1. 当該年度の主な事業

(1) 施設設備の整備

厳しい財政状況下であるが、令和4年度において、短大では電話設備更新工事、教室内Wi-Fi環境整備、高校では校務システム購入、高校マイクロバス購入、幼稚園では遊具修繕工事等主に以下のような施設、設備の整備を図った。

<短期大学>

(単位：千円)

部門	内容	業者	金額	備考
短大	電話設備更新工事	NTT西日本(株)	4,290	
〃	教室内Wi-Fi環境整備	(株)イシマル	2,065	
〃	井戸ポンプ・メーター等取替	(株)平瀬ポンプサービス	4,579	
〃	体育館入口の庇・屋根・天井補修工事	(株)西海建設	1,716	
〃	記念ホール電動スクリーン設置	(株)イシマル	1,122	
〃	2号館エントランスサッシ腐食補修工事	(株)西海建設	1,452	
〃	1号館漏水補修工事	(株)協栄興業	1,017	
〃	各研究室のオンライン授業システム導入	(株)イシマル	536	

〃	133 教室プロジェクター 設置	(株)イシマル	781	
	計		17,558	

<学生寮>

(単位：千円)

部 門	内 容	業 者	金 額	備 考
学生寮	Wi-Fi 環境整備	(株)イシマル	1,265	
〃	エレベーター改修工事	(株)日立ビルシステム	550	
〃	ボイラー室揚水ポンプ 取替	大栄設備(株)	544	
〃	寮塔屋防水改修工事	(株)協栄興業	495	
	計		2,854	

<高等学校>

(単位：千円)

部 門	内 容	業 者	金 額	備 考
高 校	校務支援システムソフト サーバー購入	システック IT ソリュー ション(株)	4,710	
〃	落雷による監視カメラ 取替	(株)フジオカ	968	
〃	マイクロバス購入	(有)フリーウェイ	2,180	
	計		7,858	

<附属幼稚園>

(単位：千円)

部 門	内 容	業 者	金 額	備 考
幼稚園	壁補修・遊具修繕工事	(有)ヒラタ建設	1,023	
〃	プールサイド防水補修	(有)ヒラタ建設	418	
〃	メルヘンハウス設置	(有)キッズ・メイト	700	
	計		2,141	

主な施設設備 合計(短大+寮+高校+附属幼稚園):30,411 千円

(2) 高大連携事業

① 高一 「短大見学会」

日 時：令和4年7月12日(火) 14:05～15:30

場 所：短大

参加者：129名

内 容：全体会(ビデオ視聴)、学内施設見学、卒業生との交流会

② 高一 「短大体験学習」

日 時：令和4年10月11日(火) 14:00～15:30

場 所：短大

参加者：119名

内 容：各学科コースの体験内容から2つを選択し受講する。

③ 高二 「系列別体験学習会」

日 時：令和4年9月15日(木) 13:30～16:00

場 所：短大

参加者：70名(くらし系列・しごと系列・こども系列)

<体験学習内容>

- ・栄養士コース：「ドーナツを作ってみよう」
- ・ビジネス・医療秘書コース：「ゲームで磨くノンバーバル・コミュニケーション力」
- ・幼児教育学科：「知りたい保育のお仕事」

④ 高二 「2学年体験学習」

日 時：令和5年3月9日 14:30～16:00

場 所：短大

参加者：70名

(栄養士分野 35名、ビジネス医療分野 15名、幼児教育分野 20名)

⑤ 高三 「ピアノ応援プラン」

日 時：令和4年8月17日(水)・18日(木)

場 所：短大音楽室、ピアノ演習室

参加者：こども系列選択者 25名

⑥ 高三 「入試説明会」

日 時：令和4年9月30日(金) 14:50～15:40

場 所：長崎女子高校

参加者：長崎女子短期大学受験予定者 37名、保護者 27名

(3) 幼大連携事業

- ①長崎女子短期大学幼児教育学科 1 年生園内見学
日 時：A クラス 令和 4 年 6 月 29 日(水)、11 月 29 日(火)
B クラス 令和 4 年 7 月 6 日(水)、11 月 30 日(水)
- ②長崎女子短期大学幼児教育学科 2 年生教育実習 参加者 5 名
日 時：令和 4 年 5 月 30 日(月) ～ 6 月 10 日(金)
令和 4 年 10 月 3 日(月) ～ 10 月 18 日(金)
- ③長崎女子短期大学幼児教育学科山中ゼミの活動に園児を招待
日 時:令和 4 年 7 月 25 日(月) 10:30～11:30
場 所:短大図画工作室を夏祭り会場とし開催
内 容:「ひんやり つめたい なつまつり」
ヨーヨー、さかなつり、うちわづくりなどを企画。

(4) 短大ゼミナール発表会の開催

令和 4 年度のゼミナール発表会は、コロナ禍での実施につき、学内関係者のみで下記のとおり実施した。

○生活創造学科

ビジネス医療秘書コース 令和 4 年 7 月 24 日(月) 13:00～16:10
令和 5 年 1 月 30 日(月) 13:00～16:10

栄養士コース 令和 5 年 2 月 3 日(金) 13:30～15:00

○幼児教育学科 令和 5 年 1 月 28 日(土) 9:30～15:30

(5) 地域との連携及び開放

令和 4 年度の公開講座は下記のとおり 5 講座を開講した。新型コロナウイルス感染症の影響により、参加率 100%を達成できた講座は 5 講座中 2 講座に止まった。なお、参加者の募集については、長崎新聞の NR7・8 号に公開講座とオープンキャンパスの案内広告を掲載するとともに、本学ウェブサイトでの広報及び各学科・コース独自の案内・広報を行った。

○短大公開講座

講 師	講 座 名	開催日時	受講数
桑原 真美 一瀬 優美 石橋 花琳 有得 結	長崎食育学講座① ～家でもできる簡単よりより～	R4.6.25	16 名
山中 慶子	わくわくサマークラフト ～雨音の楽器?! レインスティック を作ろう～	R4.8.21	13 組 34 名
桑原 真美 一瀬 優美 石橋 花琳 有得 結	長崎食育学講座② ～親子ピザ作り教室～	R4.9.3	5 組 14 名

高橋 秀樹	1)発達理論に基づいた運動能力が良くなる 運動遊び 2)初めてのストリートダンス	R4.9.23	8名
桑原 倫子	長崎食育学講座③ ～お魚料理講座～	R4.10.16	12名

(6) その他短期大学における主な取り組み

①FD 研修会

実施日:令和4年8月26日(金) 10:00～12:00

テーマ:「特色と魅力ある短期大学を目指して」

アクティブラーニング講習会

実施日:令和5年3月20日(月) 10:00～12:00

テーマ:「評価基準の平準化と可視化・活用法について」

・IR データからの知見

・ディスカッション「10の力とルーブリックについて」

②SD 研修会

実施日:令和4年8月26日(金) 13:00～15:00

テーマ:「特色と魅力ある短期大学を目指して」

学生募集戦略会議～特色と魅力ある短大にするための提案～

実施日:令和5年3月20日(月) 13:00～15:30

テーマ:「部署別年次報告会～卒業生調査・就職先調査の活用法について～」

③中高生限定料理教室「はじめて料理レッスン」

実施日

・令和4年 6月11日(土) 10:30～13:30 「ロコモコランチ BOX」

・令和4年 9月17日(土) 10:30～13:30 「生地から作る3種のピッツァ」

・令和4年 10月 8日(土) 10:30～13:30 「ヤンニョムチキンとキンパランチ」

④地元企業との産学連携商品開発プロジェクト

企画者 :生活創造学科ビジネス医療秘書コース2年生

協力企業 :(株)クリーンマット、(株)石丸文行堂、森永材木店

商品名 :アロマオイル「聖夜のしずく KAKUMEI ブレンド」

販売会 :令和5年1月21日(土)

⑤外部評価委員を招いての自己点検評価委員会の開催

日時:令和5年3月30日(木) 13:00～15:00

○外部委員4名

・天本 俊太氏 (社会福祉法人みのり会 理事長)

・池田 大輔氏 (長崎新聞社経営企画室 部長)

・安藤 嘉朗氏 (長崎県立長崎明誠高等学校 校長)

・中村 こずえ氏 (長崎県中小企業家同友会 代表理事)

○説明事項

- ・令和4年度学長運営方針について
- ・令和4年度の取り組み及び実績等について
 - 入学者数、在籍者数、退学者数、退学率等について
 - 学生募集について
 - 就職支援について
 - 学科・コースの特色ある取り組み及び実績について

(7) 高等学校における主な取り組み

- ① 美容コースの夏季スクーリング
期 間：令和4年7月25日(月)～8月19日(金)
対象者：しごと系列美容コース
1年生17名、2年生24名、3年生17名 計58名
- ② 介護職員初任者研修
期 間：令和4年4月20日(水)～12月20日(火) 8か月間
対象者：ふくし系列3年生12名
- ③ 性教育講話
1年生:令和4年6月17日(金) 2年生:令和4年7月8日(金)
3年生:令和4年7月15日(金)
- ④ フューチャーナビゲーション
日時：令和4年6月20日(月)
参加者:3年生46名 参加企業:県内企業24社
- ⑤ インターナショナルコースミーティング
期 間：令和4年7月20日(水)～22日(金)3日間
受講者:インターナショナルコース選択者9名
実施内容:講話、外国人との交流
- ⑥ 第3回系列成果発表会
日 時：令和4年2月8日(水)
場 所：各系列の発表を動画にまとめ各教室で視聴した。
参加者：全学年
実施内容:1・2年生に対し、3年生が系列で学習した成果を発表し、その成果を確認するとともに、1・2年生は今後の目標を確認する機会とした。
- ⑦ 美容コースの春季スクーリング
期 間：令和5年3月22日(水)～3月31日(金) 8日間
場 所：県美容専門学校
参加者：1年生17名、2年生24名 計41名

(8) 附属幼稚園における主な取り組み

- ① 子育て支援事業「わくわくクラブ」の実施
- ② プレ入園2歳児教室「のびのびクラス」の実施
- ③ 基本的な生活習慣の定着
- ④ 健康指導(手洗い、うがい等)と食育指導(野菜栽培・食事マナー等)
- ⑤ 保護者アンケートの実施
- ⑥ 学園内の連携強化と職場内の活性化
- ⑦ 防犯訓練・避難訓練の年3回ずつの実施

2. 入学志願者数、受験者数、合格者数、入学者数(令和5年度入試)

<短期大学：入学定員 170 名>

	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	内長崎女
学校推薦型選抜	120	120	120	120	35
総合型選抜1期	6	6	6	6	0
総合型選抜2期	4	4	4	4	2
総合型選抜3期	0	0	0	0	0
大学入学共通テスト	4	4	4	2	0
一般選抜1期	0	0	0	0	0
一般選抜2期	0	0	0	0	0
社会人選抜	4	4	4	4	0
合計	138(142)	138(142)	138(142)	136(138)	37(22)

合計欄()は前年度分

<高等学校：入学定員 125 名>

入試	試験	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
特別入試	推薦試験	73	73	73	73
	専願試験	28	28	28	28
	計	101	101	101	101
	併願試験	76	76	73	5
一次入試	一次試験	27	11	11	2
二次入試	二次試験	1	1	1	1
合計		205 (248)	189 (236)	186 (230)	109 (137)

合計欄()は前年度分

<附属幼稚園：収容定数 110 名>

	年少少 (満3歳児)	年少 (3歳児)	年中 (4歳児)	年長 (5歳児)	計
進級児	—	3	26	32	61
転入・入園児	—	23	1	0	24
合計	—	26(28)	27(33)	32(31)	85(92)

合計欄()は前年度分

3. 学生・生徒の就職・進学状況(令和4年度卒業生)

<短期大学>

令和5年3月31日現在

学科・コース	卒業生数 (A)	就職希望 (B)	就職決定 (C)	進学	未定 その他	就職率 C/B	就職率 C/A
栄養士	23	19	17	0	2	89.5%	73.9%
ビジネス・医療	24	23	22	1	1	95.7%	91.6%
幼児教育	91	85	82	0	3	96.5%	90.1%
合計	138	127	121	1	6	95.3%	87.7%

<高等学校>

令和5年3月31日現在

内 訳	卒業生数	決 定	未 定	決定率	備 考
進 学	87	87	0	100.0%	
就 職	47	43	4	91.5%	
合 計	134	130	4	97.0%	

II. 財務の状況(3カ年の収支状況)

1. 事業活動収支計算書(令和2年度～令和4年度)

○収入の部

(単位:千円)

科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学生生徒等納付金	514,215	513,880	520,512
手数料	6,874	5,873	5,573
寄付金	1,906	1,045	1,032
補助金	264,911	269,567	260,108
付随事業収入	73,054	66,354	67,770
雑収入	14,626	8,179	20,587
退職金財団受入金収入	914	55,901	2,547
教育活動収入合計	876,500	920,799	878,129

○支出の部

人件費	484,180	491,386	477,982
退職金	1,247	56,591	3,048
退職給与引当金繰入額	0	0	0
教育研究経費	297,587	322,325	308,376
管理経費	128,595	127,582	138,481
借入金等利息	0	0	0
徴収不能引当金繰入額	0	0	165
教育活動支出の部合計	911,609	997,884	928,052
教育活動収支差額	△35,109	△77,085	△49,923
教育活動外収支差額	12,735	12,641	12,599

特別収支差額	2,543	8,110	1,166
基本金組入前収支差額	△19,831	△56,334	△36,158
基本金組入額合計	△12,329	△10,717	△8,686
当年度収支差額	△32,160	△67,051	△44,844
前年度繰越収支差額	△1,142,096	△1,174,256	△1,241,308
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△1,174,256	△1,241,307	△1,286,152

※令和4年度、収入は、学生生徒等納付金と雑収入で増加。一方、支出は前年比減少。教育活動収支差額で、令和3年度△77,085 千円、令和4年度△49,923 千円、基本金組入後の当年度収支差額では、令和3年度△67,051 千円、令和4年度△44,844 千円と支出超過となったが、令和4年度の支出超過額は改善した。

また、令和4年度の翌年度繰越収支差額は△1,286,152 千円となった。

2. 資金収支計算書(令和2年度～令和4年度)

○収入の部

(単位:千円)

科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学生生徒等納付金収入	514,215	513,880	520,512
手数料収入	6,874	5,873	5,573
寄付金収入	2,329	1,454	1,479
補助金収入	264,911	277,309	260,108
資産売却収入	0	0	1,110
受取利息・配当金収入	12,735	12,641	12,599
付随事業収入	73,054	66,354	67,770
雑収入	12,163	4,718	12,400
退職金財団受入金収入	914	55,901	2,547
小計①	887,195	938,130	884,098
前受金収入	113,663	118,872	114,994
その他の収入	63,833	5,274	75,372
資金収入調整勘定	△102,643	△178,155	△132,732
前年度繰越支払資金	1,432,981	1,567,791	1,575,488
収入の部合計	2,395,029	2,451,912	2,517,220

○支出の部

人件費支出	484,180	491,386	477,982
退職金支出	1,247	56,591	3,048
教育研究経費支出	182,637	205,685	193,603
管理経費支出	110,650	109,311	122,324
施設関係支出	15,864	8,761	6,152
設備関係支出	14,029	13,013	20,801
小計②	808,607	884,747	823,910

当年度収支差額 ①-②	78,588	53,383	60,188
資産運用支出	7,005	7,001	8,401
その他の支出	30,325	16,761	29,937
資金支出調整勘定	△18,699	△32,085	△29,492
翌年度繰越支払資金	1,567,791	1,575,488	1,684,464
支出の部合計	2,395,029	2,451,912	2,517,220

※令和4年度は、当年度収支差額 60,188 千円、翌年度繰越支払資金は前年度より 108,976 千円増の 1,684,464 千円となった。

3. 貸借対照表(令和2年度～令和4年度)

○資産の部

(単位:千円)

科 目		令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
資 産	固定資産	5,397,977	5,286,152	5,179,229
	有形固定資産	4,059,135	3,947,460	3,837,814
	特定資産・その他固定資産	1,338,842	1,338,692	1,341,415
	流動資産	1,572,052	1,642,401	1,698,359
	合 計	6,970,029	6,928,553	6,877,588

○負債の部・基本金の部・繰越収支差額の部

科 目		令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
負 債	固定負債	228,328	224,867	216,556
	流動負債	134,275	152,595	146,099
	計	362,603	377,462	362,655
基本金		7,781,682	7,792,399	7,801,085
繰越収支差額		△1,174,256	△1,241,308	△1,286,152
純資産合計		6,607,426	6,551,091	6,514,933
負債及び純資産合計		6,970,029	6,928,553	6,877,588

※資産総額は、令和4年度は前年度より 50,965 千円減少。

流動資産については、令和3年度は前年度より 70,349 千円増加、令和4年度においては前年度より 55,958 千円増加した。

Ⅲ. 法人の概要

1. 学校法人 鶴鳴学園

所在地: 〒850-0823 長崎市弥生町 19 番 1 号

理事長: 原田 雄司

2. 設置する学校・学部・学科等及び学生・生徒・園児数(令和4年.5.1 付)

(1)長崎女子短期大学 所在地: 〒850-0823 長崎市弥生町 19 番1号

学長: 玉島 健二

学科・コース	入学定員	収容定員	1年生	2年生	在籍合計
生活創造学科	70	140	47	47	94
(栄養士コース)	(40)	(80)	(26)	(23)	(49)
(ビジネス・医療・秘書コース)	(30)	(60)	(21)	(24)	(45)
幼児教育学科	100	200	92	96	188
合 計	170	340	139	143	282

(定員充足率:82.9%)

※令和3年度入学生より、生活創造学科2コースの定員変更。

栄養士コース 入学定員 60名から40名へ

ビジネス医療秘書コース 入学定員 40名から30名へ

両コース合計 入学定員 100名から70名へ

令和4年度の収容定員

生活創造学科 1年生 70名 2年生 70名 計140名

幼児教育学科 1年生 100名 2年生 100名 計200名

総計340名

(2)長崎女子高等学校 所在地:〒850-0834 長崎市上小島1丁目11番8号

校長:小野 良介

学 科	入学定員	収容定員	1年生	2年生	3年生	在籍合計
普通科	125	375	137	124	135	396

(定員充足率:105.6%)

(3)長崎女子短期大学附属幼稚園 所在地:〒850-0823 長崎市弥生町19番2号

園長:犬塚 光男

区分	収容定数	3歳児	4歳児	5歳児	在籍合計
3~5歳児	110	29	34	31	94

3. 理事・監事<令和4年度>

理事・監事	氏 名	現 職 等
理事長	原田 雄司	理事長
理 事	原田 延介	相談役
理 事	玉島 健二	長崎女子短期大学学長
理 事	小野 良介	長崎女子高等学校校長
理 事	田中丸善保	株式会社佐世保玉屋 代表取締役会長
理 事	小原 四郎	新日本不動産株式会社 相談役
理 事	井口 國雄	株式会社あたご 代表取締役社長
理 事	犬塚 光男	長崎女子短期大学附属幼稚園園長
監 事	城本 隆之	医療法人清潮会 監事
監 事	平山 寿則	平山税理士事務所所長

4. 理事会の開催状況

開催年月日	主な議案	出席数
令和4年5月26日	①監事候補の選出について ②令和3年度予算の補正(案)について ③令和3年度事業報告について ④令和3年度決算報告について ⑤令和4年度予算の補正(案)について ⑥報告事項 ・小島奨学基金の運営状況について ・部門別現況報告について	理事 8名 監事 2名
令和4年9月28日	①任期満了に伴う理事(学識経験者)の選任について ②任期満了に伴う監事候補の選出について ③任期満了に伴う評議員(法人職員)の推薦について ④任期満了に伴う評議員(卒業生)の選任について ⑤任期満了に伴う評議員(学識経験者)の選任について	理事 8名 監事 2名
令和4年10月1日	①任期満了に伴う理事長の選任について ②「役員に対する報酬等の支給基準」の改定について ③長崎女子高等学校の令和5年度入学生の奨学生制度について ④報告事項 ・令和4年度予算の執行状況について ・部門別現況報告について	理事 8名 監事 2名
令和4年12月21日	①長崎女子短期大学の昇任人事(案)について ②長崎女子短期大学の学則変更(案)について ③報告事項 ・令和4年度予算の執行状況について ・部門別現況報告について	理事 6名 監事 2名
令和5年3月29日	①理事の選任について ②令和4年度予算の補正(案)について ③令和5年度事業計画(案)について ④令和5年度予算(案)について ⑤長崎女子短期大学附属幼稚園の新制度(施設型給付幼稚園)への移行について ⑥学園人事について ⑦報告事項 ・部門別現況報告について	理事 6名 監事 2名

5. 評議員 17名(欠員なし)

6. 評議員会の開催状況

開催年月日	主な議案	出席数
令和4年5月26日	①監事候補の選出について ②令和3年度予算の補正(案)について ③令和3年度事業報告について ④令和3年度決算報告について ⑤令和4年度予算の補正(案)について ⑥報告事項 ・小島奨学基金の運営状況について ・部門別現況報告について	評議員 17名 監事 2名
令和4年9月28日	①任期満了に伴う評議員(法人職員)の選任について	評議員 16名 監事 2名
令和4年10月1日	①任期満了に伴う理事(評議員会選出)の選任について ②任期満了に伴う監事候補の選任同意について ③「役員に対する報酬等の支給基準」の改定について ④長崎女子高等学校の令和5年度入学生の奨学生制度について ⑤報告事項 ・令和4年度予算の執行状況について ・部門別現況報告について	評議員 16名 監事 2名
令和4年12月21日	①長崎女子短期大学の昇任人事(案)について ②長崎女子短期大学の学則変更(案)について ③報告事項 ・令和4年度予算の執行状況について ・部門別現況報告について	評議員 12名 監事 2名
令和5年3月29日	①理事の人事について ②令和4年度予算の補正(案)について ③令和5年度事業計画(案)について ④令和5年度予算(案)について ⑤長崎女子短期大学附属幼稚園の新制度(施設型給付幼稚園)への移行について ⑥学園人事について ⑦報告事項 ・部門別現況報告について	評議員 15名 監事 2名

7. 学園合同会議

学園合同会議は、理事長の諮問会議であり、学内理事と監事及び各部門の幹部職員により構成され、定例的に開催されている。ここでは学園(理事会)と短大・高校・幼稚園の教学が一体となって問題意識の共有を図るとともに、日常的な学生・生徒等の動向あるいは保護者からの要望等についても情報を共有する。また、理事会提案事項等の調査研究、企画立案、調整を行うなどの機能も有している。

○構成員

構成員	理事長、学園長、相談役、監事、短大学長、高校校長、幼稚園長、法人本部長、法人本部次長、短大事務局長、高校事務長
-----	---

○学園合同会議開催状況

	開催年月日	主な議案・報告事項
第1回	令和4年4月20日	①学校法人のガバナンス改革(案)の概要について ②部門別現況報告について
第2回	令和4年5月18日	①5月26日開催の理事会・評議員会における議案について ・令和3年度予算の補正(案)について ・令和3年度事業報告について ・令和3年度決算について ・令和4年度予算の補正(案)について ②5月26日開催の理事会・評議員会における報告事項について ・令和3年度小島奨学金の運営状況 ・部門別現況報告について
第3回	令和4年6月15日	①令和4年度予算の執行状況について ②部門別現況報告について
第4回	令和4年7月20日	①本部より報告事項 ・学費・寮費・食費未納者の状況について ・令和4年度予算の執行状況について ②部門別現況報告について
第5回	令和4年9月21日	①9月28日開催の理事会・評議員会における議案について ・「役員に対する報酬等の支給基準」の改定について ・長崎女子高等学校の校納金・寮費・就学支援金等の内容及び令和5年度入学生の奨学生制度について ②学費未納者・退学者の状況について ③9月28日開催の理事会・評議員会における報告事項について ・令和4年度予算の執行状況について ・部門別現況報告について

第6回	令和4年10月19日	①令和4年度予算の執行状況について ②部門別現況報告について
第7回	令和4年11月17日	①部門別現況報告について
第8回	令和4年12月14日	12月21日開催の理事会・評議員会における議案について ・長崎女子短期大学教員の昇任人事(案)について ・長崎女子短期大学の学則変更(案)について 12月21日開催の理事会・評議員会における報告事項について ・令和4年度予算の執行状況について ・部門別現況報告について
第9回	令和5年1月26日	①本部からの報告事項 ・監査法人監査の講評内容について ・電気料金の現状について ・教職員の定年等に関する規則等の改正概要について ②部門別現況報告について
第10回	令和5年2月15日	①本部からの報告事項 ・令和4年度退学者の状況について ②部門別現況報告について
第11回	令和5年3月22日	①3月29日開催の理事会・評議員会における議案について ・理事の人事について ・令和4年度予算の補正(案)について ・令和5年度事業計画(案)について ・令和5年度予算(案)について ・長崎女子短期大学附属幼稚園の新制度(施設型給付幼稚園)への移行について ・学園人事について ②3月23日開催の理事会、評議員会における報告事項について ・部門別現況報告

8. 教職員(令和4年.5.1付)

		理事長・学園長 相談役	短大	高校	幼稚園	本部	合計
教 員	専任		18	18	9		45
	特専・常勤		3	10			13
	非常勤		41	12	2		55
職 員	専任	3	16	4	3	4	30
	非常勤		2	1	3		6
合 計		3	80	45	17	4	149

9. 建学の理念・教育目標

(1) 建学の精神

－ 鶴九臯に鳴きて声天に聞こゆ －

中国の古典「詩経」の小雅・鶴鳴篇の中の一節で、本学園の建学の精神である。鶴は、人に知られない山奥の沢辺で鳴いても、その声は遠くまで達するという意味であり、この詩句には深い人間的意味が込められている。社会の中で人に知られなくても、地味だが現実根ざして誠実に生き、学びつづけている人は、深い谷間で鳴く鶴の声が、やがて天の高みまで響くように、必ず人々から高く評価されるようになるということである。

本学園では、深い誠実な生き方を示す「至誠」を基本として、人間教育を大切に、「品性」を涵養する学園を創造しつづけている。

(2) 短期大学の教育理念・教育目標・学位授与の方針

○教育理念

創立以来、輝く女子教育の伝統と歴史の上にたち、建学の精神に基づいて、深い学理の探求と優れた技術の練磨とによって、社会の平和と幸福の増進に寄与し、自立性をもつ現代女性の育成を使命とする。

○教育目標(学訓):「尽心・創造・実践」

尽心・創造・実践は、建学の精神と教育理念に基づいて生まれたものである。即ち、常に至誠の心をもって事に当たり、「もの・こと」の本質を見つめつづけ、古き慣習にとらわれず、より良きもの、より高きものを創ることに努め、かつこれを単なる理念にとどめることなく実践することを意味する。

○学位授与の方針

教育目標(学訓)と学修成果の到達目標に基づいて開講されている教育課程の科目を履修し、学則に規定する成績評価の基準で卒業に必要な単位を修得した者。これにより社会に貢献できる資質を身につけた者に、短期大学士の学位を授与する。

(3) 高等学校の校訓・教育方針・教育目標

○校訓:「真心・創意・共生」

○教育方針

創造的意志を大切に、豊かな教養と人間性を育むとともに国際的視野に立ち、共に生きる思いやりの心を有する女性の育成を目指す。

○教育目標

- ①生命の尊さを学び、優しい心を育てる。
- ②自然と環境を愛し、人間尊重の精神を育てる。
- ③清らかな心を育て、品性の向上に努める。
- ④基本的生活習慣を確立させ、精勤を奨励する。
- ⑤学業を大切に、進路目標の達成に努める。

- ⑥個性を伸ばし、感性豊かな表現力を育てる。
- ⑦ねばり強く取り組む気力・体力を育てる。
- ⑧校内の美化と地域・社会への奉仕に努める。
- ⑨生徒会活動や部活動の活性化に努める。
- ⑩多文化との交流を深め、国際的視野を広める。

(4) 短期大学附属幼稚園の教育目標

豊かな学園環境の中で、たくましく、やさしい、思いやりの心を大切に育てる。

- いのちを大切に「ありがとう」の言える子ども
- 明るく元気にあいさつのできる子ども
- 表現豊かで創るよろこびをもつ子ども
- 友だちと仲よく遊べる子ども
- あきらめずやりぬこうとする子ども

10. 学園の沿革

年 月	事 項
1896(明治 29)年 10 月	長崎女子学院を創立(市内出来大工町 27) 新潟県出身の笠原田鶴子が、欧米視察のため長崎に立ち寄った折、外国との交流のある長崎でありながら意外と女性の地位が低いことを痛感し、欧米視察を断念して、女子教育に情熱を燃やすことを決意した。教師4名、生徒2名でのスタートであった。
1901(明治 34)年 4 月	伊良林町 77 番戸に移転、校名を「鶴鳴女学校」と改称 教師 8 名、生徒 50 名 「鶴鳴」の由来は、中国の詩経「鶴九臯に鳴いて声天に聞こゆ」の句による。また創立者笠原田鶴子の名に因んだものであった。
1906(明治 39)年 3 月	原田豊一第2代校長に就任
1912(明治 45)年 4 月	「鶴鳴実科高等女学校」と改称、定員 250 名
1918(大正 7)年 3 月	原田アサ第3代校長に就任
1920(大正 9)年 5 月	「鶴鳴高等女学校」に改称
1921(大正 10)年 2 月	校舎を現在地の上小島に移転
1925(大正 14)年 1 月	原田アサ校長、ロンドン留学(昭和3年帰国)
1947(昭和 22)年 4 月	鶴鳴中学校設置
1948(昭和 23)年 4 月	学制改革で「鶴鳴女子高等学校」と改称(普通科)
1951(昭和 26)年 3 月	学校法人鶴鳴学園と組織変更 原田アサ初代理事長に就任
1951(昭和 26)年 4 月	「商業科」を増設
1952(昭和 27)年 4 月	鶴鳴幼稚園が高校敷地内に開園、原田アサ初代園長に就任
1959(昭和 34)年 10 月	鶴鳴中学校廃止
1960(昭和 35)年 6 月	原田鶴代第 2 代理事長に就任
1960(昭和 35)年 12 月	原田寅次郎第4代校長に就任
1960(昭和 35)年 12 月	原田寅次郎鶴鳴幼稚園第2代園長に就任
1966(昭和 41)年 4 月	鶴鳴女子短期大学開学(家政科) 原田寅次郎初代学長に就任

1966(昭和 41)年 4 月	旭が丘鶴鳴幼稚園開園(弥生町) 原田寅次郎初代園長に就任
1966(昭和 41)年 10 月	学園創立 70 周年記念式典を挙行
1967(昭和 42)年 4 月	短大の家政科を家政専攻と食物栄養専攻に分離増設
1969(昭和 44)年 4 月	鶴鳴女子短期大学を長崎女子短期大学に改称
1970(昭和 45)年 4 月	短大の家政科家政専攻を家政専攻と被服意匠専攻に分離増設
1970(昭和 45)年 6 月	短大の学生募集低迷のため次年度の学生募集停止の決定をなす
1970(昭和 45)年 11 月	短大の学生募集再開
1970(昭和 45)年 11 月	長岡達第2代学長に就任
1970(昭和 45)年 12 月	川崎周之第5代校長に就任
1970(昭和 45)年 12 月	法人本部を設置
1971(昭和 46)年 4 月	原田慶子鶴鳴幼稚園第3代園長に就任
1971(昭和 46)年 8 月	原田延介第3代理事長に就任
1972(昭和 47)年 1 月	長岡達旭が丘鶴鳴幼稚園第2代園長に就任
1972(昭和 47)年 1 月	川崎周之鶴鳴幼稚園第4代園長に就任
1973(昭和 48)年 4 月	短大に幼児教育学科を増設
1973(昭和 48)年 4 月	原田延介鶴鳴幼稚園第5代園長、旭が丘鶴鳴幼稚園第3代園長に 就任
1975(昭和 50)年 10 月	学園創立 80 周年記念式典を挙行 初代理事長原田アサ胸像建立
1977(昭和 52)年 9 月	短大体育館が完成
1978(昭和 53)年 4 月	藤田源次郎第6代校長に就任
1979(昭和 54)年 1 月	短大に新学生寮「若竹寮」完成
1979(昭和 54)年 4 月	原田延介第3代学長に就任
1979(昭和 54)年 4 月	原田慶子学園長に就任
1980(昭和 55)年 4 月	太田多美子鶴鳴幼稚園第6代園長に就任
1980(昭和 55)年 4 月	山川雅雄旭が丘鶴鳴幼稚園第4代園長に就任
1982(昭和 57)年 4 月	短大の家政学科家政専攻と被服意匠専攻を統合し生活文化専攻を 新たに設置
1983(昭和 58)年 4 月	稲永侑三旭が丘鶴鳴幼稚園第5代園長に就任
1984(昭和 59)年 3 月	旭ヶ丘鶴鳴幼稚園の園舎が短大敷地内に新築移転
1984(昭和 59)年 4 月	稲永侑三鶴鳴幼稚園第7代園長に就任
1985(昭和 60)年 4 月	長谷川信第4代学長に就任
1985(昭和 60)年 4 月	長谷川信第7代校長に就任
1985(昭和 60)年 10 月	学園創立 90 周年記念式典を挙行
1988(昭和 63)年 4 月	短大家政学科を生活科学科に生活文化専攻を生活情報専攻に改組
1988(昭和 63)年 4 月	法人本部を短大内に移転
1990(平成2)年 4 月	菊谷元資第5代学長に就任
1990(平成2)年 4 月	前田英昭第8代校長に就任
1993(平成 5)年 2 月	高校の校舎・体育館の外壁全面改装工事完了
1994(平成6)年 4 月	江副功第9代校長に就任

1994(平成6)年 4 月	前田英昭鶴鳴幼稚園第8代園長、旭が丘鶴鳴幼稚園第6代園長に就任
1994(平成 6)年 10 月	短大の新校舎完成(100 周年の先駆け工事)
1995(平成 7)年 4 月	中西弘樹第6代学長に就任
1996(平成8)年 10 月	学園創立 100 周年記念式典 記念事業として高校第二体育館新築・グラウンド整備工事が完成
1997(平成 9)年 4 月	鶴鳴女子高等学校を長崎女子高等学校に改称 進路別コースがスタート
1997(平成 9)年 4 月	鶴鳴幼稚園を長崎女子短期大学附属第一幼稚園に、旭が丘鶴鳴幼稚園を長崎女子短期大学附属第二幼稚園に改称
1998(平成 10)年 4 月	田中正明第 10 代校長に就任
2000(平成 12)年 4 月	田中正明第7代学長に就任(校長兼務)
2000(平成 12)年 4 月	柳原邦弘長崎女子短期大学附属第一幼稚園第9代園長、第二幼稚園第7代園長に就任
2001(平成 13)年 4 月	短大の生活科学科に生活福祉専攻(介護福祉士養成)を設置
2002(平成 14)年 4 月	犬塚光男第 11 代校長に就任
2004(平成 16)年 4 月	原田延介理事長 第 12 代校長を兼務(犬塚光男副校長) 長崎女子高等学校「商業科」を廃止 長崎女子高等学校入学定員変更(500→200)
2004(平成 16)年 4 月	長崎女子短期大学附属第一幼稚園と第二幼稚園を統廃合し、長崎女子短期大学附属幼稚園に統一(第一幼稚園休園)
2005(平成 17)年 4 月	犬塚光男長崎女子短期大学附属幼稚園第 10 代園長に就任
2005(平成 17)年 9 月	短大1号館外壁全面改修工事完了 短大校舎と学生寮食堂連絡通路工事完了
2005(平成 17)年 10 月	財団法人短期大学基準協会の第三者評価訪問調査 10 月 20 日・21 日
2006(平成 18)年 3 月	財団法人短期大学基準協会の第三者評価において「適格」認定
2006(平成 18)年 4 月	馬場正典第 13 代校長に就任
2007(平成 19)年 4 月	長崎女子高等学校入学定員変更(200 名→170 名)
2008(平成 20)年 4 月	原田雄司副理事長就任
2008(平成 20)年 4 月	江副功第8代学長に就任
2008(平成 20)年 4 月	柳川伸一第 14 代校長に就任
2009(平成 21)年 6 月	奈良県の奈良佐保短期大学と相互評価締結について調印
2010(平成 22)年 4 月	短大の生活福祉専攻を「介護福祉専攻」に名称変更
2010(平成 22)年 4 月	短大が奈良佐保短期大学と相互評価を実施
2010(平成 22)年 8 月	短大が文部科学省の「大学教育・学生支援推進事業 大学教育推進プログラム」採択
2011(平成 23)年 3 月	長崎女子短期大学附属第一幼稚園廃園
2011(平成 23)年 3 月	高校第一体育館・短大学生寮の耐震化工事が完了
2011(平成 23)年 4 月	短大の生活情報専攻を「生活総合ビジネス専攻」に名称変更
2011(平成 23)年 4 月	鈴木賢二長崎女子短期大学附属幼稚園第 11 代園長に就任
2011(平成 23)年 10 月	学園創立 115 周年記念演奏会―掛屋剛志ピアノコンサート―

2012(平成 24)年 9 月	財)短期大学基準協会第三者評価評価委員 4 名が現地調査
2013(平成 25)年 3 月	(財)短期大学基準協会第三者評価 2 回目の「適格」認定
2013(平成 25)年 4 月	小野良介第 15 代校長に就任
2013(平成 25)年 8 月	高校龍踊部が全国総文祭優秀校東京公演に県代表として出場
2013(平成 25)年 9 月	短大トイレ全面改修工事完了
2014(平成 26)年 4 月	浦川末子第9代学長に就任
2014(平成 26)年 4 月	長崎女子短期大学生活科学科を生活創造学科に名称変更、併せて専攻を廃止しコース制に改組(栄養士コース定員減 80→60)
2014(平成 26)年 4 月	長崎女子高等学校の入学定員減(170→150)
2015(平成 27)年 4 月	長崎女子高等学校「普通科総合選択制」導入
2015(平成 27)年 6 月	長崎女子高等学校進入道路工事着工
2015(平成 27)年 7 月	文部科学省運営調査
2015(平成 27)年 12 月	長崎女子高等学校耐震化改築工事に伴う校舎解体工事に着手
2016(平成 28)年 4 月	玉島健二第 10 代学長に就任
2016(平成 28)年 4 月	長崎女子高等学校耐震化改築工事(第一期工事)着工
2016(平成 28)年 6 月	長崎女子高等学校進入道路工事完了
2016(平成 28)年 12 月	長崎女子高等学校耐震化改築工事(第一期工事)完了
2017(平成 29)年 11 月	長崎女子高等学校耐震補強工事(第二期工事)完了
2018(平成 30)年 3 月	短大が文部科学省「平成 29 年度私立大学等改革総合支援事業」(タイプ①・タイプ⑤)に採択される
2018(平成 30)年 3 月	長崎女子短期大学入学定員 40 名減(生活創造学科介護福祉士コース募集停止)
2019(平成 31)年 3 月	短大が文部科学省「平成 30 年度私立大学等改革総合支援事業」(タイプ①・タイプ⑤)に採択される
2019(平成 31)年 3 月	長崎女子短期大学生活創造学科「介護福祉士コース(入学定員 40 名)」の 2 年生が卒業し、同コースの廃止が完了した これにより入学定員は、生活創造学科は栄養士コース 60 名、ビジネス・医療秘書コース 40 名、幼児教育学科 100 名で、計 200 名となる
2019(平成 31)年 3 月	原田延介第 3 代理事長が辞任
2019(平成 31)年 4 月	原田雄司第4代理事長に就任
2020(令和 2)年 3 月	(財)短期大学基準協会の認証評価において3回目の適格認定
2020(令和 2)年 3 月	短大が文部科学省「令和元年度私立大学等改革総合支援事業」(タイプ①・タイプ③)に採択される
2020(令和 2)年 3 月	短大と長崎明誠高等学校との「教育活動の充実・推進等に関する連携協定」が締結される。
2020(令和 2)年 4 月	長崎女子高等学校の入学定員減(150→125)
2020(令和 2)年 4 月	長崎女子短期大学生活創造学科の令和 3 年度入学生からの入学定員を栄養士コース(60→40)、ビジネス・医療秘書コース(40→30)と改める。
2020(令和 2)年 11 月	短大と長崎県との「若者の県内定着促進等に係る連携協定」が締結され、「長崎県内企業・事業所魅力発見事業」に取り組む。

2021(令和3)年2月	短大と長崎県中小企業家同友会との「包括連携協定」が締結される。
2021(令和3)年3月	短大が文部科学省「令和2年度私立大学等改革総合支援事業」(タイプ③)に4年連続採択される。

IV. 今後の課題について

入学年齢人口が年々減少という厳しい運営を強いられる状況下で、学園の存続を如何に図っていくかが大きな課題である。何より短期大学、高等学校、幼稚園を擁する総合学園として相互の連携を一層強化し、地域での存在感を高めていかなければならない。

学生・生徒数確保が厳しい中、財務面においては、学生・生徒数をどう確保し収入を安定させるか、また収入の範囲内で経費支出をどう抑えるか、収支のバランスをいかに維持していくかが重要である。

短期大学においては、次年度学生募集で幼児教育学科、生活創造学科の2コース共に入学定員を下回る厳しい状況となった。今後、本学独自のきめ細かい指導・支援体制と各学科・コースの特色ある取り組みの周知、積極的な情報発信等全学を挙げて改革や特色化に取り組んでいく

高等学校においても、短期大学同様、生徒募集は厳しい状況が続くと想定され、今後は、教育活動全般・中学校訪問・オープンスクール・広報のあり方等の見直しを図り、本校の特徴を更に周知していく必要がある。

幼稚園においては、短大の附属幼稚園としての特色を一層鮮明にし、他園との違いを明確にしていくと同時に、「令和6年度から新制度(施設型給付幼稚園)への移行」を進めながら、保育の質の向上、在園児・保護者の満足度向上、職員の処遇改善に、引き続き全力で取り組んでいく。